

# 令和2年～令和6年の4～6月(春山)における山岳遭難事故発生場所

<死亡・重傷事故につながる下山中の滑落事故が多発しています!!>

○ハケ岳では、赤岳、阿弥陀岳での滑落事故が発生し、重傷事故につながっています。

また、滑落事故の多くは下山中に発生しています。

○山岳地帯は冬山とほとんど変わりません。低気圧と高気圧が交互に近づくため、短期間・短時間で天候が変化します。

○雪上でスリップによる転倒、滑落、気温上昇による雪崩、急激な天候変化(気温低下)による道迷い、

低体温症、凍傷に注意しましょう。

茅野警察署・諏訪地区山岳遭難防止対策協会

北ハケ岳で発病や転倒事故あり



蓼科山 (5件)  
転・滑落、病気、疲労  
※重傷者あり



南八ヶ岳での下山中の滑落事故多し

天狗岳（3件）  
滑落、道迷い

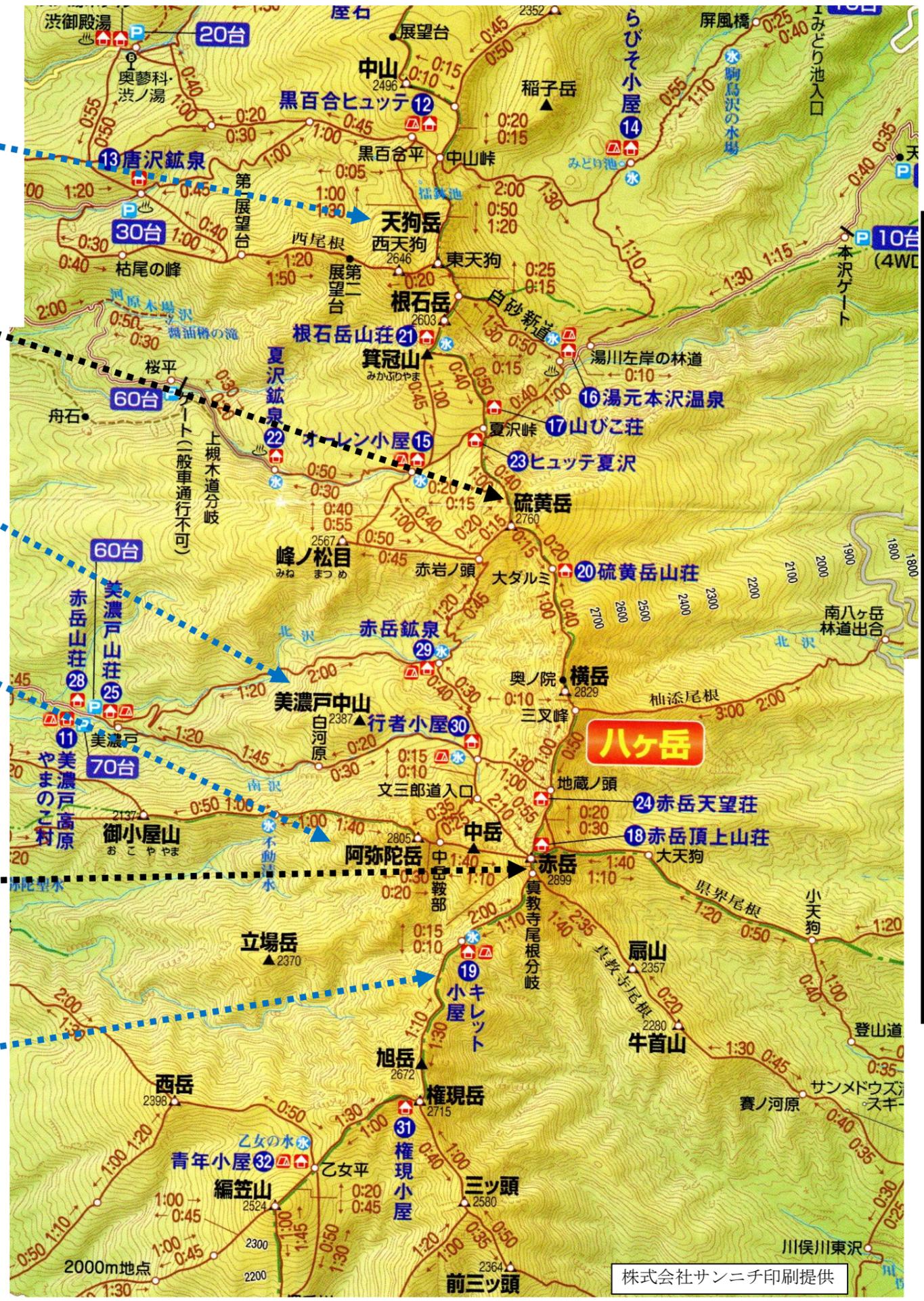
硫黄岳付近（1件）  
病気 ※死亡者あり

美濃戸中山（1件）  
疲労・凍傷

阿弥陀岳付近（2件）  
滑落、道迷い  
※重傷者あり

赤岳付近（16件）  
雪崩、凍死、転・滑落、転倒、  
疲労凍傷、病気  
※死亡・重傷者あり

キレット（1件）  
道迷い



株式会社サンニチ印刷提供